

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	30-4
PDCA	主要事業名		ICT教育推進事業		部課名		教育部学校教育課		担当		渡辺
									内線		520
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 1 - 3 単位施策： 義務教育										
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 6 年度 全体事業費等： 3,837 千円										
	会計		一般会計				歳出科目： 09.01.03.02.59				
	事業概要等		事業概要： GIGAスクール構想により、教育のICT化が急速に進み、ICTを活用した学習の多様化が進むなか、半田市が導入すべき教育DXについて調査研究を行う。								
			事業目的： ICTを活用した学習の多様化が進むなか、半田市が導入すべき教育DXについて調査研究を行う。								
			事業内容： 教育各分野の学識経験者やICT教育の専門家により、半田市に相応しい教育DXについて調査研究した結果をとりまとめ報告を受ける。								
			問題点・課題等： 専門家の選出								
	予算額		主要事業とする理由								
	1,279 千円										
	財源内訳		ICT環境を最大限に活かし、時代に対応した教育を確立していく必要があるため。								
	市費		得られる成果								
	1,279 千円		GIGAスクール構想により整備されたICT環境を最大限に活かし、個別最適化された学習が実現される。								
	国費										
	0 千円										
	県費		目標値や目指すべき状態				令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	
	0 千円		専門家・有識者による教育DX報告会の開催回数		実績値	—	0	—	回		
				目標値	—	2	2	回			
				実績値							
				目標値							
その他				実績値							
0 千円				目標値							
D 実績値 得られた成果と	決算額		得られた成果								
	1,259 千円		ICT教育に精通した大学教授などを招き、半田市が導入すべき教育DXに係る調査研究を行うとともに、GIGAスクール構想によるデジタルシティズンシップ教育などを進めることができた。								
			成果指標						令和4年度	単位	
			専門家・有識者による教育DX報告会の開催回数				実績値	1	回		
							目標値	2	回		
C 課題の整理	事業の評価・課題		C 専門家・有識者による教育DX報告会の開催回数は1回であったが、半田市におけるICT教育の現状を整理・分析するとともに、今後の方向性等について協議・検討することができた。								
A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性		改善推進 先進事例等に係る調査研究を進め、ICT端末の安全・安心な活用の促進、学校運営及び教育活動のデジタル化・クラウド化の推進、先端技術の効果的な利活用について協議・検討を行い、半田市における教育DXのさらなる推進を図る。								
	観点別評価		必要性		有効性			効率性			
			①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい		⑦コスト削減	ある		
			②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		余地	※手段の変更		
			③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない		⑧受益者負担適正化余地	ない		

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用